

オギ群落



分布	北海道、本州、四国、九州の各地に分布。 ⁽¹⁾
生態	ススキによく似た大型の多年草で、茎は硬くて太く、竹のような節があり、高さ1～2.5mになる。 ⁽¹⁾
配慮事項	オギの生息場所に中途半端に手を加えて放置すると、セイタカアワダチソウが侵入し、オギを駆逐することがある。帰化植物からの侵入から守るためにも、工事は慎重に行われるべきである。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

タコノアシ



区分	環境省レッドリスト: 準絶滅危惧 宮崎県版レッドリスト: 絶滅危惧Ⅱ類
分布	本州、四国、九州に分布。 ⁽¹⁾
生態	山間地の湿地や河川のワンドなどに生育。高さ60cm前後の多年生草本。葉は細長く、幅10cm、長さ7~8cm程度。花期は9月で、茎の先に穂状の花序を数個つける。
配慮事項	自生地はやや多いが、個体数は減少している。自生地の開発、河川改修による影響が懸念される。 ⁽¹⁾

(1) 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県、2000

マツカサススキ



区分	宮崎県版レッドリスト:絶滅危惧 I B 類
分布	本州、四国、九州に分布。 ⁽¹⁾
生態	低地河川のワンドに生育。茎の高さは1~1.5mで、直立し、太くて硬く、やや円く、5~7個の節がある。果は8~10月に熟す。日本固有。 ⁽¹⁾
配慮事項	自生地がごく限られている。河川改修、遷移進行による影響が懸念される。 ⁽¹⁾

(1) 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県、2000